



1. マーケット・レート

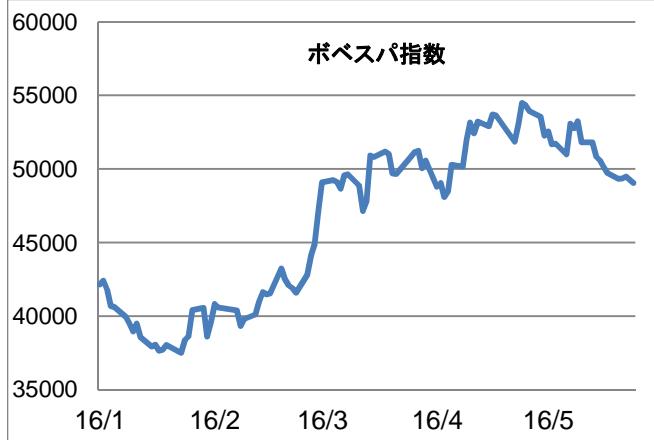
			5月20日	5月23日	5月24日	5月25日	5月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5210	3.5720	3.5710	3.5830	3.6110	+0.0280
	BRL/JPY	Spot	31.28	30.58	30.79	30.75	30.54	-0.21
	EUR/USD	Spot	1.1224	1.1219	1.1143	1.1155	1.1116	-0.0039
	USD/JPY	Spot	110.15	109.25	109.97	110.19	110.32	+0.13
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.86	13.83	13.83	13.79	13.76	-0.0305
	Future	1Year(p.a.)	13.24	13.27	13.24	13.26	13.32	+0.0628
On-shore	USD	6MTH(p.a.)	2.405	2.597	2.641	2.830	2.940	+0.110
		1Year(p.a.)	2.703	2.760	2.853	3.009	3.006	-0.003
株式	Bovespa指数		49,722.75	49,330.42	49,345.19	49,482.86	49,051.49	-431.37
CDS	CDS Brazil 5y		347.50	356.69	355.66	350.98	351.34	+0.36
商品	CRB指数		184.207	183.195	183.345	185.300	186.137	+0.837

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 伯企画・予算管理相が汚職操作妨害疑惑で一時離任したことを受け、今週のレアルは総じて弱含みの展開。メイレス新財務相は経済政策の指針を示したが、レアルへの樂観ムードには繋がらなかった。
- 今週のレアルは週間高値となる3.5150で寄り付いた。新任されたばかりのジュカ伯企画・予算管理相が汚職操作を妨害しようとした電話の音声記録が発見されたと報道があり、同氏は音声の分析が完了するまで一時離職すると発表。その後、サンフランシスコ連銀総裁とフィラデルフィア連銀総裁が年内2、3回の利上げが可能であるとの見解を示したため、ドルが対エマージング通貨で買われた。週末にかけてはイエレンFRB議長が数ヶ月以内の利上げを示唆したことを受け、レアルは週間安値となる3.6290を示現。結局、3.6110で週越。
- 中銀公表のアナリスト予想調査では、2016年の経済成長率予想が-3.88%から-3.83%に小幅上方修正された。2016年末のインフレ率予想は7.00%から7.04%へ上方修正された。政策金利予想は2016年末が13.00%から12.75%に下方修正され、2017年末も11.5%から11.38%へ2週連続で引き下げられた。
- 先週テメル新政権はGDP比2.75%に相当する1,705億レアルの基礎的財政収支赤字目標を発表したが、この新しい目標は25日早朝に大きな混乱なく議会で承認された。2015年4月から2016年3月の年金赤字はGDPの2.28%に達しており、目標達成には年金改革が不可欠と言われている。
- 25日に発表された米エネルギー情報局の週間石油統計で米国の原油在庫と生産がいずれも減少したことを受け、WTI先物は昨年10月以来約7ヶ月ぶりに1バレル50ドルを突破した。

3.今週のチャート&ハイライト



メイレス新財務省、経済政策の指針を提示

メイレス新財務相は財政支出上限の設定、政府からBNDESへの貸出の一部返還、ファンド資産の売却、年金改革検討チームの設立など、経済政策に関する指針を提示。また、先週末に新政権が発表した新しい財政収支目標が議会で承認されたが、ムーディーズは同目標修正は危機の深刻さを示すとコメント。ブラジルに対する樂観論には結びつかなかった。ボベスパ指数はテメル暫定政権発足から下落が続いているが、今週は一時49000を割り込んだ。原油を中心とした商品価格の堅調を背景に世界的に株式市場は総じて堅調だったが、ボベスパ指数は週間で約2%の下落となった。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.45–3.75

テメル新政権下での財政改革法案の審議や追加的な経済政策の発表が注目されるが、国内で予定される大きなイベントはない。新政権発足に対する期待感でブラジル資産が買われて来た流れは一服感があり、当面は戻りを試す展開となろう。国外ではECBの金融政策決定会合と米国の経済指標に注目が集まる。特に米国に関しては、ここでのFEDの理事からタカ派的な発言が目立っており、6/15のFOMCでの利上げに期待が高まっている。来週は、個人所得、ISM製造業景況指数、製造業受注、そして雇用統計と米国では重要経済指標の発表が目白押しとなっている。堅調な内容となれば米国利上げ期待から新興国通貨は売られる展開となろう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	Federal Debt Total	0.76%	2800b	2887b
米	GDP(年率/前期比)	0.9%	0.8%	0.5%
米	個人消費	2.1%	1.9%	1.9%
米	ミシガン大学消費者マインド	95.4	94.7	95.8

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/30	FGVインフレIGPM(前年比)	May	10.99%	10.63%
ブラジル	5/31	PPI 製造業(前年比)	Apr	--	6.13%
ブラジル	5/31	基礎的財政収支	Apr	--	-10.6b
ブラジル	6/1	FGV CPI IPC-S	May-31	--	0.68%
ブラジル	6/1	GDP(4四半期累計)	1Q	-4.8%	-3.8%
ブラジル	6/1	マーカット・ブラジルPMI製造業	May	--	42.6
ブラジル	6/1	貿易収支(月次)	May	--	\$4861m
ブラジル	6/1	CNI設備稼働率(季調済)	Apr	--	77.4%
ブラジル	6/1	商品価格指數(前年比)	May	--	8.56%
ブラジル	6/2	鉱工業生産(前年比)	Apr	-8.5%	-11.4%
EC	6/2	ECB主要政策金利	Jun-02	0.00%	0.00%
ブラジル	6/3	マーカット・ブラジルPMIコンポジット	May	--	39.0
ブラジル	6/3	マーカット・ブラジルPMIサービス業	May	--	37.4
米	6/3	非農業部門雇用者数変化	May	160k	160k
米	6/3	失業率	May	5.0%	5.0%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。